

市中学校駅伝競走大会結果



●男子の部

①佐沼A = 1時間2分51秒 = ②南方A ③中田A

●女子の部

①中田A = 48分36秒 = ②佐沼A ③津山A

●男子区間

(1区/3\*区) ①佐竹悠哉(佐沼A) 9分41秒 ②渡邊留唯(南方A) ③加藤寿騎(米山A)

(2区/3\*区) ①岩瀨慈玄(佐沼A) 10分02秒 ②永浦覇久(南方A) ③岩瀨剛仁(中田A)

(3区/3\*区) ①佐藤陸玖(南方A) 10分24秒 ②飯塚風葵(佐沼A) ③遠西彩雅(米山A)

(4区/3\*区) ①佐藤瑠星(佐沼A) 10分40秒 ②榊原京太郎(南方A) ③只野来斗(登米A)

(5区/3\*区) ①千葉唯翔(米山A) 10分34秒 ②金澤武生(石越A) ③高橋瑠(南方A)

(6区/3\*区) ①内海温琉(中田A) 9分29秒 ②須藤悠太郎(登米A) ③加藤慶悟(石越A)

●女子区間

(1区/3\*区) ①名嘉原姫奈(東和A) 11分59秒 ②菊地夢衣(豊里A) ③猪又虹羽(中田A)

(2区/2\*区) ①及川玲萌(中田B) 8分09秒 ②木川海(佐沼A) ③菅原美咲(中田A)

(3区/2\*区) ①佐々木柚和(中田A) 7分40秒 ②遠藤羽衣(佐沼A) ③豊原歩美(米山A)

(4区/2\*区) ①小林芽咲(中田A) 7分51秒 ②菊地りな(登米A) ③鈴木悠愛(米山A)

(5区/3\*区) ①川嶋心結(中田A) 11分48秒 ②阿部桃花(津山A) ③津花藍里(米山A)



迫愛会 Jr.

迫愛会 Jr. バレーボール  
スポーツ少年団

2000年結成。登米市をはじめ、栗原市や大崎市の小学4から6年まで8人が在籍。随時団員を募集中。問い合わせは袋和人監督(090-8850-2080)まで。前列左から、田口くれは、遠藤日和、遠藤星空、石野稀愛、後列左から、伊藤希、吉田羽那、田口心愛、三浦彩葵。

「第41回全日本バレーボール小学生大会宮城県大会は6月26、27の両日、大崎市古川総合体育館と陶芸の里スポーツ公園加美町総合体育館で開かれ、迫愛会 Jr. が5年ぶり3度目の優勝に輝いた。

「たくさん練習したので自信はあったけれど、優勝した瞬間はすごくうれしかった」と主将の田口くれはは、はにかみながら優勝の喜びを語った。

宮城県大会には、各地域から32チームが出場。山王サンシャインとの初戦を迎えた迫愛会は、1セット目を先取したものの、ミスが続ぎ2セット目は落としてしまう。勝負が決する3セット目の開始前、選手同士、「切り替えよう」と声を掛け合い、気合を入れ直す。ミスが減り、15-5で初戦を制した。久しぶりの実戦で感覚を取り戻すと、遠見塚ゴルドンスタース、高森シスターズにはストレート勝ち。

**迎** えた準決勝。対戦相手の仙台新田スポーツ少年団は、160点を超える選手を3人そろえた大型のチーム。160点を超える選手がない小柄な迫愛会は、練習で鍛え上げたサーブが最大の武器。小学生としては少ないジャンプフロッターサーブを放てる選手を4人そろえた。高い打点から放たれる精度の高いサーブが対戦相手を翻弄する。鍛え上げた武器を生かし、21-8、21-14と連取して強豪を下した。

決勝の愛子バレーボールクラブ戦では、1セット目を17-21と競りながらも落としてしまう。出鼻をくじかれ嫌なムードが流れる中、「声を出していこう。絶対勝つよ」と、田口主将がチームに気合を入れる。得意のサーブを中心に戦況を打開。2、3セット目をもぎ取り、逆転で優勝を決めた。

袋和人監督は「普段の練習から子どもたちの自主性を大切にしている。今回の優勝は、自ら作戦を考え実践した子どもたちと、手厚いサポートをしてくれた日本一の親の会のおかげ」と、勝因を語った。

**全** 国大会は感染症拡大防止のため中止となったが、青森県での東北大会を10月に控える迫愛会。現チームの集大成として、チーム一丸で頂上を目指す。